

# 「千代田区ふるさと検定」の活用による大学・地域間の交流促進

家政学部児童学科 本澤 淳子

## 研究経過

2016～2018 年度 千代田区事業「千代田学」  
「小学生を対象にした千代田区の地域素材の  
教材化に関する研究」により、「千代田区子ど  
も検定」を構成し、冊子及びHPによる発信と  
いう成果を残してきている。なお、「千代田区  
子ども検定」は、あらゆる世代の方々に楽し  
んでいただきたいとの考えから、本年度より「千  
代田区ふるさと検定」と名称を変更している。



## 目的

上記の研究成果をふまえ、本プロジェクトで  
は、小学生やその家族等が参加する地域イ  
ベントや区内学童クラブ、高齢者あんしんセ  
ンター等で検定問題を活用した交流活動を行  
うとともに、検定問題で取り上げた場所を紹介  
する番組「千代田区デジタルストーリーテリ  
ング」を発信することによって、千代田区なら  
ではの魅力を伝えていく機会とし、大学と地域間  
の交流促進を図ることを目的とする。

本プロジェクトは家政学部児童学科本澤ゼ  
ミ生を主体として進める。一連の研究活動  
を通して、学生の主体性、協働意識、コミュニ  
ケーション能力等の向上を図る。

## プロジェクト内容・結果

### (1) 「千代田区ふるさと検定」を活用した地域交流活動

#### ◆ 4月 「千代田区ふるさと検定」チャレンジ大会

本学2号館にて地域住民を対象に、検定 HP 版を解きながらビン  
ゴが楽しめるイベントを開催。読売新聞東京版に掲載。



#### ◆ 8月 はあとカフェ麹町・神田における千代田区クイズ大会

地域のご高齢の方々約 50 名を対象にクイズ大会を開催。各グ  
ループに入った学生と交流しながら、地域にまつわるクイズを楽し  
んでいただいた。



### (2) デジタルストーリーテリング「ちよさんぽ」の発信

「千代田区ふるさと検定」で取り上げた内容について、さらに現地  
取材を加え5分程度の番組を構成・発信。本年度は以下の 9 回。

- ① 千鳥ヶ淵の桜
- ② 神田神社神田祭
- ③ 日比谷公園 10 円カレー
- ④ 神保町ブックフェスティバル
- ⑤ 風ぐるま 麹町ルート
- ⑥ 風ぐるま 秋葉原ルート
- ⑦ お茶の水周辺
- ⑧ 皇居ラン
- ⑨ 神田小川町雪だるまフェア



## 考察

◇検定発信後の利活用について、積極的な計画運営を行うことができた。各地の郷土検定が発信後まもなく枯渇する  
傾向にあるのは、発信後の継続方法が考慮されていないためと考えられる。今後も交流活動の内容、発信の方法を  
検討し、「ふるさと千代田」への意識の醸成を図る機会をさらに充実させていく。

◇ゼミ生へのアンケートでは、問題解決能力、協働性、社会活動への参画意識等が向上したと自己評価している者が  
多く見られる。「ちよさんぽ」の作成・発信などのように、卒業研究において地域連携をテーマに選択する者も毎年一  
定数おり、成果を収めている。学生にとって多様な学修の機会となり、地域貢献に繋がる活動を今後も推進したい。